

改正
補訂

地方凡例錄

八上

内閣文庫			
函架	冊	號	類
八二	二〇	三三二八一	和書

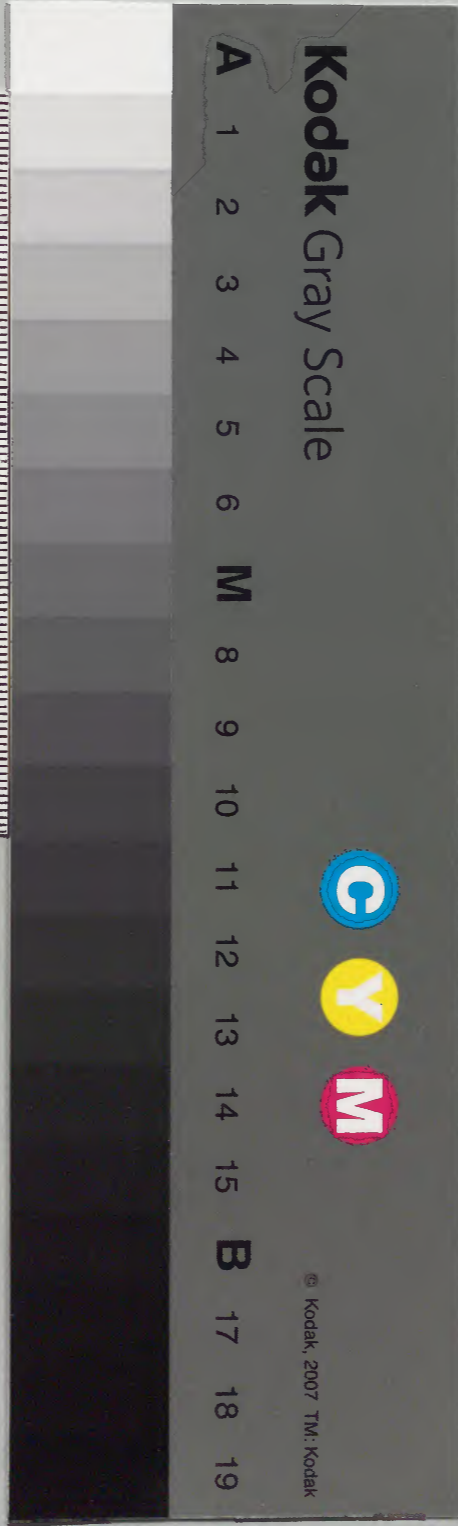
32
関

内閣文庫	
番號	和 32281
冊數	20(15)
函號	182 123

史

一

〇



關 32

改正補訂地方凡例録卷之八上

高崎

大石又敏士 著

一 郷村受取渡之事

附 郷村受取濟する上村方より取べき書物之事

代官より渡の節先文配より取べき諸書物之事

郷村受取の上村方へ申渡しの事

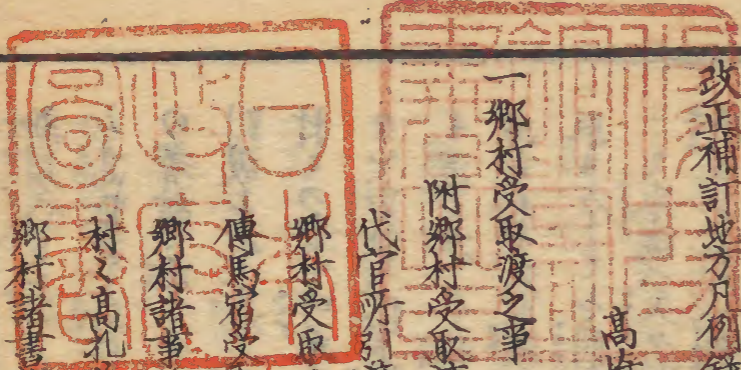
傳馬宿受取の上取計ひ方之事

郷村諸事吟味心得方之事

村之高札芥子浦々高札之事

郷村諸書物受取渡濟する上心得べき品之事

改正補訂地方凡例録 卷之八上 郷村



何月日

何之誰印

右之通り取箇方 伺方 知行割 諸入用方 殿中の間 勝手方勘
定奉行へ粘入半切の認め無印にて差出せり

一私領上地と受取又を料外より私領へ引渡しする村より右同然より

併し私領の不案内より付受取渡しの作法等諸事代官より差圖を渡し

一郷村受取済する上を村方より早速受取べき書物左の通り

一田畑高及別帳

一村差出明細帳

但し田畑高及別石盛等巨細に相記しりて別段高及別帳と
受取り又余り

一村繪圖

但し居村の山林田畑色分より仕立べし尤も守夫より記を
添えり

一三十年割付寫

但し本紙相添え差出を退て讀合せ済する上本紙を村方へ
返せり

一田畑質入直段并より竹木直段書

一前年旨消目録寫

右の通り受取るべし尤も私領上知等より右の書物より村方不案内
より本案書と認め仕組方の差圖をいりて差出さるべきことあり

一代官所場処替の印渡を方より受取べき諸書物

一取箇帳

一成箇郷帳

改正地丈目録 卷之五上

一 三十箇年取米永重附帳

一 代官所繪圖

一 檢地水帳寫

一 勘定仕上目録寫

一 傳馬宿諸証文

一 小物成澤役并運上等取立帳

一 十分一類取立帳

一 渡船寺の時修復仕方帳并船頭住居等の書付

一 酒株帳

一 切支丹類族帳

一 獻上物の節の引付帳

一 廻狀順帳

一 小入用改帳并人馬割帳

一 陣屋家繪圖并諸証文留事訴訟留帳

一 村監帳

一 村繪圖

一 金銀銅鉄明礬硫黄山帳并休山帳一殿跡繪圖

一 堤川除用水橋音請帳

一 林帳并繪圖

一 宗門五人組帳

一 朱印寺社帳

一 河岸場市場帳

一 鉄炮改帳

一 陣屋小役村々割掛帳

一 村高役引帳

一 私領入組の村附帳

一 村々立毛名田分帳并坪疇帳

一 牢屋の其繪圖又ハ修復入用屋敷の歩引付寺の書付

一 他領より納る小物成帳

一 建立地寺社書付

一 取箇下組帳

右の通受取^{とん}べし尤^{なほ}も郷帳取箇帳林帳等其外大切の書物の代官^{とん}印^{いん}にて受取渡し致し其外元の手代印^{てい}形^{かたち}と引渡し尤^{なほ}も書物の内引渡しはあつたる書物の借受^{かき}て寫し取^とり又右の記を書物の外ハ

其処は依く品をりるべきなり

一 郷村受取る上村方へ申渡り書付左の如し

一 従前より被仰出は法度の趣へ不及申先代官申付置不諸法度堅可

相守事

附補方有之村と浦高札の趣海邊市制法の儀堅く相守可申事

一 邪宗門兼々社仰出通う弥以て無油断可相改事

一 山林竹木の儀へ不及申百姓持山々々々々無断根々々々取申間敷

事

一 中法度の田地永代并頼納賣買仕間敷小田畑貨物取引仕小と申年

季と定め庄屋五人組加判しく相極め可申事

一 借地店借の者へ不及申古仕の男女とも造成請入寺請伏無之小ハ差

置申間敷不総て不審ある者有之小ハ可注進事

附可辨妓操り其外見世物の類留置不儀堅く可為停止其外胡乱成

者へ勿論无宿体の者一夜の宿も宿間敷事

一 中奉場は捉飼場の寂寄村々々々々前々々々仰出通相心得成の節火

の元隨分念入飼犬野犬等不相散様敷置事急度相慎之小様大小

の百姓水呑店借古仕等々々々々迄常々申渡相無之様可仕事

一 中年貢納方の儀日限割賦申觸次第無遅滞相納め期月前可令皆消し

若し相滞り小ハ手鎖宿預け等申付村方痛々々々々々其心得急

度可致上納事

一 火の元常々可又念若出火有之小近郷を不及申寂寄の村々々々々々早速

馳付可消之近火は罷出する草の品々寄々可為裁度事

一新開切添立出新見取寺有之少分の場処ハコトハ早速可申出外ハコト起返レ地処無隱置事可申出外ハコト一隱置後日及露蹟ハ地主ハ勿論村役人等可為越度事

一公事出入有之ハ村方困究の基ハ小間常々申合出外等無之様可仕ハコトハ若し無執款ハコト及出入ハ村役人等ハ双方ハ異見差加ハ成文付内々ハ相済ハ様可取計ハ其上ハ難相済ハ可訴出外事

一取首同ハ相済村ハ割付相渡シハ惣百姓被見の上銘ハ影ハ承知仕拜見証文印形ハ可差出外事

一取首掛札村ハ相渡ハ間名主宅ハ高札場寺ハ掛置惣百姓ハ一覽仕ハ海邊事

一村入用の儀随分遂吟味成文ハ首書ハ不相掛様可取計ハ聊の品

一惣百姓承知の上可致割賦ハ小入用の儀ハ付後日出外等無之様村役人等ハ兼々可相心得事

附村役人ハ戸練表其外他ハ用ハ付罷出外ハ用相済ハ弟早速歸村ハ無之入用不掛様可仕事

一畑米の儀米持ハ並ハ俵持ハ等随分入念相仕立掛目欠損ハ等無之様相改め船中粗末ハ無之様可仕事

附名主ハ戸立逗留中無之入用等不相掛様可仕ハ積帳の外入用等内々ハ村割ハ仕間敷事

一自分并ハ手代等廻村の節先觸の通ハ入馬差出シ其外余計の人馬等差出間敷ハ休泊の儀ハ木錢米代定法の通受取之其所在合の野菜ト以て一汁一菜の外馳走ハ間敷儀曾々仕間敷事

附檢見の節村役人札讀着法道具等持り入足の外無無の入足差出
間敷事

一手代并の家来召仕の等に至りしを金銀米錢衣類諸道具等不及申
輕少の品々々々々々音物一切は間敷方一心得違仕音物等々々々賄路
間敷儀有之りハ急度曲事可申付事
右之条々一事ハ無違犯急度可相守者也

年号月日

何之誰

右を仰渡す法度趣一々承知仕奉畏ハ若心再違の者有之一事々々共
違背仕りよ來てハ如何様の曲事より可申付ハ為後見惣百姓連印仕
出諸書差下申外仍知件

年号月日

何國何郡何村

名主

組頭

惣百姓

連印

一平日村方へ申渡し置べき書付享保六丑年二月代官より伺ひの上村方
へ申渡と書付左の如し

一村々大小の百姓前々の通五人組と極置組合より外は其の無少の様
々々諸事由法度の儀堅く相守り若し入柄惡く家業不相勵及埒の
者有之ハ不隱名主組頭申合可訴出事
一惣百姓不依何事大勢相催し神水と吞み誓約と々々一呆同心徒党
之間敷儀堅く制禁之事

一 百姓持高ノ拾石以下反畝ノ一町歩以下の田畑ノ子供并

兄弟ハハ割分ノ申取事

一 田畑屋敷山林等譲り儀存生ノ内遺状ニ記シ置名主組頭ノ内為立合加印為致置後日ノ出入無様可仕ハ一分ノ心次第ノ認置遺状ノ死後ニ至ル難立事

一 村中百姓在来家作ノ外親ノ家作仕間敷ハ無執子細有之ハ代官ノ可受差圖事

一 永荒場ノ内起込シノ田畑有之ハ不隱書付ト以テ可申出ル總テ新開ノ田畑或ハ切添或ハ永荒場等ノ立返ル又ハ高外ノ見取場等ノ可成地外有之只今々々年貢不納地外有之ハ不隱可申出ル方一外ノ相知見ハ隠シ置小地主ト云々及名主組頭等迄可為裁度事

一 新規ニ企テ神佛ト拵ヘ怪敷儀申觸シ物取ノ為人集メ仕間敷及令物取トク無之ハ只今々々不在来ト拵ヘ神佛ノ類村送り致シ人寄仕間敷事

一 田畑屋敷山林等ノ至ルヲ永代ノ賣買一切停止ノ事

但シ年季限ノ賣買トモ其村並ノ直段トモ倍金トク賣買仕ベ

一 頼納ト名付田畑屋敷山林等直段ト倍金ト以テ賃入又ハ年季賣買ノ積リノ賃取年季賣金主ハ年貢役ト不相勤ト右賃入又賣小地主ト年貢役等勤メ後堅ク停止ノ事

一 賃入ハ田畑屋敷山林等十箇年ト十五箇年迄ノ年季相極メ置小年季明五箇年ノ内ト可訴出ハ三箇年ノ年季ト年季明

一 三箇年の内は訴出可及沙汰右の年数より過ハ取上間敷
小証又は年季の限り無之令事有次第可請返由の實地ハ其年号十箇
年の内は訴出可及沙汰但し自今以後ハ實地の年季十箇年
可相限事

附實地の証文ハ名主加判可取置ハ若し置主名主ハ組頭年寄
加判可仕ハ右加判無之實地ハ取上間敷事

一 實地の儀再實地ハ入小節金高と増し實取間敷ハとて實地を其
並の直段より倍金の手形より貸渡し仕間敷事

一 田畑山林屋敷等賣買と不申議付と名付金銀と取付て譲渡し儀
永代賣買と可為同然事

一 實地受返の願ひ地主死後至り地主の子孫より無之外の親類より
申出ハと為受返申間敷事

但し地主の子孫より親存生の内分家より別株ハ相成居ハ
ク又ハ養子ハ違ハし他家相續の子孫願出ハ本家跡式相立有
之及令縁ハ速く相成ハとも他家の子孫ハ為受返儀を相成らざ
る事

一 毎年年貢割付免定出ハ村中大小の百姓出作の者ヤを披見為仕年
貢割合随分入念無相違様可仕ハ右定免本書無相違様ノ字ノ名主
組頭立合郷蔵戸前ハ張置可申事

一 総て田畑野方林藪等ハ開ハて新規屋敷ハ仕ハ儀停止ノ事
但し村中ハ有之古道と止め私とて新道と附けハ儀仕由ハ
新田畑の外前より家無之場処ハ家作ハ又ハ出茶屋等作

新田出来儀の儀

受べま事
一 父兄又を親方分の者より譲受り又ハ質流田畑屋敷山林又ハ町場の屋敷買受外ハ早速其処の名主五人組へ相断り當前持主の名前カキテ書替可申小若シ名前書替不置出入成小其地処を可取上事

一 水帳名前帳の及歩附より若シ歩廣ある田畑屋敷山林等と前より持来りて右本歩より増の余歩と村分より質入又を年季責より儀仕間敷事

一 意趣遺恨有之りて人の門へ張札又を落又のてて人罪可落儀と巧と偽と構へ儀仕間敷事

一 前より村中入會より来り山林株場等と相對りて分け持切

又割合申間敷事

一 小作田畑の儀廿箇年と過て作来りハ可為水小作事

右の通村と百姓水吞等に至るまで少くも無違有急度可相持者也

享保廿五年一月

政事向の儀享保廿五年代官へ申渡の趣と村へ申渡置る書付左の如し

覚

一 米穀の類損失無之能出来ハ様常無油断可申付事

一 在来ハ田畑損毛無之様節々心掛普請申付又ハ川除の悪くありたる所を能く為致儀專要の事

一 新田出来儀の宜き事ハ外ハ害ハ不成処々被申付可然大

改正地方別録 卷之八上

聚古田畑林場寺の障りあるて度有之儀は付左様ある処は可為無用事

一 差當り入用も無之よし山林伐木交易の儀堅く可為無用事

一 食物の勿論其外諸色潤澤よし根を遣ひ捨不申酒菓子類の類はと多く作り出しの儀可被相心得事

一 當時賣買の諸色別不足ある物も無之処此上物教多く仕出の儀人の分限を越て物と遣ひの儀事足り不申畢竟國の害とあり無益の事あり米穀並は菜種の外は金銀衣服諸道具に至る迄新規の品々勿論在来りの物も相増仕出しの儀根を被申付間敷事

一 在来りの外遊所見世物并賣買を人多く集めの様は儀其所の賑ひと雖申立根を被申付間敷事

一 無故に商物と根より高直に賣出し過分の利益を貪りしもの儀は小条被逐吟味為致申間敷事

但し商物一所は請込に下直り可賣出を申すは是又取上被申間敷事

一 國々処々より出しの諸色運送不自由より途中の煩りと損失無之様心と付可被申付事

右近年諸願事取上不被申の処去年以来承届けの様相達し夫は付諸人一同の救助は月成儀は可被申付左も無之品を人々分限を守り費不致様の處置と専ら被相心得可被申付此外色々の儀と申立は其事と取扱ひの者の徳用より成へども諸方は行はさし命を擧ぎはささく不相成却て惡事のていふも出来可申の条件の趣能く被相考可被申

聚古田畑林場寺の障りあるて度有之儀は付左様ある処は可為無用事

以上

享保五年五月

石書付町奉行勘定奉行へ相渡り代官へ申達し成り村々心得の爲め
觸置の様申渡されし事

一傳馬宿と受取る上地方に付る諸書物の外村々同然なるべし宿場
と出火又ハ捕者尋者等々の或ハ不時の變事ありて外在郷々の遠ハ
吟味六ヶ敷委細穿鑿と遂げ其上往還筋武家平人の往來も繁く木
慮の變事ありてあるれば手當なく宿繪圖と巨細は仕立させ小間表
口裏行屋敷一軒毎家別記一本陣向屋旅籠屋茶屋又ハ外商人百姓と
ハ馬役歩行役夫々名前相記し家居の坪敷土蔵物置隱居家別記裏店其
外空屋敷又ハ空地掘溝道并ハ町裏所外の田畑々々ハ同繪圖同然に仕

立させ早速受取べし遠國の宿場々々ハ一枚出さる一枚を陣屋に差置
き一枚を江戸練役所へ差置べし變事許りの爲めハ朝野人來聘
休泊ハ相成節の爲めハ成り若又上落寺々々の爲め委細の繪圖書
付と添へて取置べき事

一郷村の儀を常々心掛け諸事吟味の爲め心得置べき事村々ハ高札
場築地石垣破損せむ仕直させ常々掃除申付べし高札古く文字見へ兼
まを其段支配役所へ申出書直し又ハ墨入致さるべき事

一飼付場鷹野場或ハ往還傳馬場船場又ハ建山園所園境村境等吟味
繪圖と仕立夫々の番入と平日も付置べし村々浦々上中下と見分け十
箇年以來の取箇割賦帳字々取ると先役より郷村引渡しの節及別郷
帳村方心得の書物并ハ百姓町人風俗心入込尋置万事念入

し

一廻村の節先法度の趣と申渡し其外仕置申付べし又知事たるにても
も諸事委細に申渡せ百姓町人家業抽所多く身持正き様は仕置帳と名
主方より小百姓よりへ毎日讀聞せし様申付べき事

一郷村見分帳と仕置置べきと田畑及歩位付家居海川山林竹木菅野草芥
場山方野方の訳惣て運上物或は穀物賣出し所紙漆蠟燭油菜種箱細木
綿麻布炭薪柴排籠等扱梅をくく菓樹魚鳥干物類其外商賣の品男女と
小様の有無金銀の動き能は委細と記し尤も先年より仕別ざるとして
小百姓の為に成ることを仕習ひ小様は申付諸職人獵師狩人より改め置
又其処より右寺のものふくして不自由あるが招寄せ或は寺社山伏座頭
猿飛船入神子乞食どのの類も其処の余カより渡世と送り小多分の者

へ又右の類は領より其処へ金銀と取集め助力があるるとし記し置
取箇の節考へ合せべき事

一村方へ申渡し儀若し心得違ひて其理を通せざるものならんが随々各入
様委しく申諭し其上より違背の者あるが其身は應じ日教相定り過料
として堤川除或は竹木植立其外所の者あるべき音請等と申付料の
重なる大法通り申付べし又諸事信義を精出せりとのへ相應り廢美の取
とべし勿論他村よりも岡傳へ自他とも行跡善くある様より同有へし
但し廢美の儀は大切あるとて村役人或は下役小者寺の申立ると
閑暇と穿鑿せし廢美のくく又い答を申付る上若し同違ひ的當
あれりまきハ自他より歸服せし却て政道の妨と成りあるが廢取の儀
も其身ハ勿論外との者も尤と思入やう同違ひ得違ひく員負偏頗

の沙汰等ある様取計り

一 市中の賣物其処より以合ふる結構ある衣類諸道具其外何れも不審ある物と賣し出せば盗物と辨らる物は何もの道其処にて商賈致を間敷或は祭礼寺にて賣物と偽り入集めいふ処を喧嘩口論等のある様名主役人へ申渡して之を防ぐべし

一 耕作の節耕し耘す夫々の手入時と後と異なる様毎事申觸又ハ役人村方へ罷出吟味せよし又自然獨り百姓中煩ふ者より親類友人組其外好身より助合耕作仕付空地等成る様急度申付しりりりり田畑と荒し不申様よとせよ

一 百姓の耕し培ひ耘し種りて奢る省き費を防ぎ力と付け足と強くとせよ已が子孫を恐慎み制法を重んじて收納具成りのるる貧民

と礼義薄く收納も後と異なるは是以て公礼民服と心得民の力強とれ
 自然と領主地頭の者も成る疲ま百姓と補ふべしと取箇の之強とれ
 下困窮り及び種々の悪事起るものる

一 正月早より繩と縮毛と編と織と織り又農具の修復美作の手入田地へ掛る井筒の音請或は家の修理も冬中より手配りて心掛る様も申付べし正月と月待日待等の席りて當坐の慰とて双六宝申等事輕始り漸々重く成錢と失ふものる暇と費し家職と怠を正月と過ぎ二月三月より勝負とて掛り種々の悪事も出来取り若たもの不行跡の基も成り後其身と損ひ始終一村の煩と成り耕作の時節も後作物出来ど一年貢不足し宜しと成る訴訟も多し商賈の法度ハ兼て申渡すといへども村役人の目と思ひ始り一錢二錢の手慰も後

増長し右体の不埒り起る正月早より家職を取付二月より夜新く
 一暇をた様よあな自然と遊ぶて少し故に冬中より早春へうけ
 名主組頭油断あく世話のく農事より取掛は様申付おれとけり
 一身上宜き百姓を田地と買取亦宜く成り身代宜しうなる者へ田地
 と沽却し猶々難儀を成殊に地面次第悪く成り成りの故永代賣の厳く停
 止より又質地に入ると終る流地も成り或は田畑書入より高利の金
 子と借り返済の手支へ利足倍々年季と切ると付借金の方へ書入を
 田地と渡し先祖より譲り受ける地身と離るるてん畢竟永代賣同然る
 り或は家業の崩壊ひする町人の手に入ると其年限小作致さるゆへ預
 り高の余分と徳用とをく作ると付未だ地面の為と思ふ耕し肥し
 カル入らば生付る地位より格別力衰へ宜しうなるてゆへ質地

入るも直に地主は小作致さる地主も精出し耕作とあり流地も成る
 様心掛るを旨又方へ申付何卒流地も致さば先祖より地面の成せざ
 る様諸事より間ゆるべきとらる
 一村内の富貴ある者ハ村中の助より成り又衰微の元もあるべし貧窮成
 りのる田畑と書入高利は金銀の質附居村ゆへ年貢上納おれ以前貸方
 へ引取弥年貢不足を乞し尤も借金銀米銭ハ年貢皆済あな以前一切返
 濟仕間敷旨兼く申渡置るゆへ又年貢不足の儀とて借し遣せども高
 利の分を利倍りて弥小百姓痛く成る依て一割半より高利貸し不申
 自然と相對の初出来小様兼く仕置し間有るはとけりて富貴ある
 百姓へ目見せよけをぞ弥奢て悪し又悪むべきとよむゆへ只強て近
 寄るる貧賤ある百姓耕地取續く様心と用ゆるべきとらる困窮の村

改正地方所傳録 卷之六

六

と医師出家山伏旅人の類少く夫婦の多かりのり富貴ある村
ハ諸勸進多く遊族なりとて寺社の修復家作或ハ祝言法事の仕様衣
類中心と付て奢り防ぐべし

一 麦田少く木綿菜大根大豆小豆蕎麦黍粟菘草芋或ハ菜種の類四木三
草の多少何事も事欠るともなれり商人多き村ハ代物と取る村ハ又往還
筋りて旅人の金銀落し所諸事考へ合せ取箇の甚弁はとべし又上田
上地ハ其端作ありと外ハ稼あく作徳許りの村ハ了簡なるべし又ハ
古檢新檢及別延縮山畑砂畑切添の場処役夫掛り物の多少五箇年程の
小割帳等と字レ取諸事考へ合せべき事

一 古来よりの空地芝原又ハ治地等田畑ハ開墾のり然るべき地処ハ所
の者ハ相尋ね前より子細りて新田はあはる分ち其原付の秣場

田肥しの為ハ草間りく差置り沼地ハ溜水用水の為ハ空地りく差
置りさりと障りもなれ場処あはる新開り仕立りくべし勿論開墾地ハ
と様子より二三年五五年終年季と違ハし作取り致させ其上町歩相
改め道代畑境等と引き及別と極べし繩詰りくるる處の衰微あり又取
箇の障りあるは付少く緩く打取て四五箇年の内を軽く申付追々新
開切添り百姓精と出し仕立る様ハ了簡なるべし叔高と附る後ハ地面
の位と考へ近邊田畑の並と見合せ水損早損糞場の様子等品々考へ
合せ石盛と極べし石盛と極るは其村の上田と見立ると一坪ハ叔
一升りハ一反歩り三石五合措りて米壹石五斗と成る即ち之と十
五の盛と定め又一坪ハ叔一升一合りハ米よしく一反歩り壹石六斗
五升りハ此五升の端と捨て十六の盛と定む然とてハ新開りて地性定

よらる内を年々依て杓目の不同をくし惣て平地山地日受の善悪
其外品々地果等と考へ坪野をくし十五の盛當る処も右の心得を以
て或は十三四より十六七より土地相应し極るべし中田下田を大縣式
斗下り或は三斗下り又は壹斗下りをくし中下の位に應て定むべ
し段取の其地位に應て上中下三段又は六段九段より地果に隨て極べ
し畑境の処相應の樹と考へ植込べし

一 地面宜き処に村居の第一に高き処より又は山あがり山添の
村居と引き村居跡の田畑に開墾をくし商様の処に村中の垢水惣田地
へ落込を肥しよあり屋敷跡の作物もくし出来取箇に進み百姓の為め
勞然にんまき事

一 在郷と山野多く草刈場もくし薪あがり下畑と漬し秋種と蒔き年々

淺りくくくくくく刈取雜穀の売と交薪のくくく或は馬草肥草も出来残り

田畑納物宜し少しくく畑と漬をくし停止せありくくく又其代り
女童と庭と織習を其外務の品と教へ賣出し夏成の多く足し致し

一年貢其外勘定の儀役入庄屋小百姓立合相極ら置或は廢限より立合百
姓の印形のくくくせ名まより小百姓方へ手形と出し帳の綴目と役入押
切判のくく以後庄屋小百姓と世々の出入等もくし重移り穿鑿の爲に
宜し郷中より諸役入用の外無筋の掛り物もくし様小帳と造り其場より
付立て重移り出入等のある様氣を付べし

一 郷村監帳ハ一村限に委細に記し未だ役録並に武具馬具或は侍助の
覚りるもの大力の者其外治川の浅深等も明細に記し置べし

一 男女入別改^{ニシテ}其^ノ方^限と知^ル大小^ノ明^細付^立て宗^門吟^味の^ノ牛^馬教^家教^衆間^行外^馬屋^物置^成の^ノ樹^木何^程山^林教^等亦^ハ職^人品^ノ改^め置^べし若^シ他^処より来^ル田^地も作^らば極^くる^ノ定^業も必^ずり^の差^置間^敷様^常と申^付廻^村の^即吟^味と云^ふし

一 廻^村の^即土^地と考^へ川^上川^下々^々地^形の^高位^土砂^取交^の様^子輕^重淺^深等^ハ杖^と以^て押^込み手^障り^を以^て考^へ知^るべし草^木の^生立^いへん^や付^け土^地相^應の^竹木^仕立^方等^と考^へ去^るべし

一 屋^敷廻^りの^堀井^と冬^田と水^と入^置べし堀^水と火^事の^節より冬^水の^外夏^水持^とく冬^雪又^しくは^夏夏^水の^節より

一 田^畑名^寄帳^と上^田中^田下^田も同^断井^と屋^敷々々^銘々^と記^し此^分米^何程^綿高^何程^誰と入^別記^し一^村々^惣等^と田^方何^程畑^何程^井と

仕^立さ^々々^々取^置べし
一 親^の田^地高^十石^内又^別壹^町步^{より}内^と兄^弟々々^分け^譲り^を間^敷弟^々奉^公と出^るる^養子^と遣^り久^う兄^と一^所居^る田^畑と作^り万^事々々^稼ぎ^又る^職人^々も去^るべし十^石壹^町より少^しく分^るる^段々^小高^い成^る未^だ水^吞回^然と成^て互^に苦^む之^と分^るる^古来^{より}田^分と去^て馬^鹿と云^ふ人^々

一 村^々に在^る高^札井^と浦^高札^の左^の一^つ
村^々に在^る高^札の^寫
切^支丹^宗門^累年^制禁^{あり}自^然不^審有^る者^は々々^可申^出優^美と云^ふ
むくまんの訴^人 銀^五百^枚

いりまんの訴人 銀三百枚

立歸りもの訴人 同斬

同宿并宗門訴人 同百枚

右の通可被下同宿宗門の内より申し出た品は寄銀五百枚可被下
隠置他処より於頭其処の名主并五人組一類とも罪科可被行
者也

正徳元年五月日

領主名

右の通被仰出趣領内の筆堅可相守者也

一在は於し若し鉄炮を打た者有之可申出并は留場の内を馬と
取ら者捕へらく見出しは早可申出急度申候美可被下者也

享保六年二月

奉行

右高札を料所私領とも村別は二枚充り尤も遠國の私領等は高札
の多し村方も多し町場市場河岸場宿場等江戸練日本橋より通る
の大高札あり

浦々高札の寫

條々

一公儀の船の不及申諸廻船とも逢難風時を助船と申し船破損せざる
様成たけ可入精事

一船破損の時其所近き浦の者より入精荷物船具等可取上其場所の
荷物の内浮荷物を十分一沈荷物を十分一川船を浮荷物を十分一

沈荷物を十分一取上り者へ可遣事
一沖より荷物列るとはる着船候は於其処の代官下代庄屋出合遣事

教正此方凡例録 卷之八

鑿船相残の荷物船具等の分証文可出事

附船頭浦への者へ申合蓋の勿捨くる由候申さる後日と聞
と云々も船頭へ勿論申合の輩悉く可被行死罪事

一 溪より水く船へ繋置り輩の公其寸細の所の者へ相尋候日和次第早
々可為致出帆其上より令難遊何方の船へ承り届け其浦の地頭代
官へ急度可申達事

一 御城米廻船船具等水不足の惡船不可積立并日和好節船令破
損ハ船主沖船頭可為曲事総て理不尽の儀申掛又私曲有之可申
出雖同類其科を免しは優美可被下之且又仇と不為様可被仰付事
一 自然寄船并荷物流米放有之ハ可揚置半過荷主無之ハ揚置半輩
可取之若し右の日數過ぎ出来ると云々不可返之雖然其処の地頭

代官可受差圖事

一 博奕等賭の諸勝負堅可為停止事

右之條可相守若し惡事仕輩は於て可申出急度優美可被下少科
人罪の輕重隨ハ可為沙汰者也

正徳元卯年五月日

一 前より浦より高札相立儀の船と不又申諸廻船より根ある儀無之
様被仰付外処遭難風外即ち所の者とも助り不相成却破損様
致し掛荷物等勿或ハ上乗船頭と申合不法の儀は有之様相関へ
不届より料ハ代官私領の地頭より遂吟味毛頭不仕様急度可
申付若此上不好の儀被有之は後日相関外より其者ハ不又申其
所の者より可被行重科其上代官地頭迄可為越度事

一 御城米船近年破損多し村令般諸事相改り別々大切可仕旨申度船
 足の儀も添く不入様大坂奉行其外國の船ハ其所支配の代官より
 船足定の所極印と打船頭水主人數不減少様急度申付令運送る
 等々の依之添寄ら船の分と船頭水主人數并船足極印の通り無
 相違送扶引合急度相改め帳面より記し置上乗船頭印形為致右書物
 其処留置由料ハ代官私領ハ地頭へ差出し代官地頭より勘
 定奉行申可差出且又極印より船足添く入り小船有之ハ積儀數
 改之由城米の外船頭私運賃と取他の米穀或ハ商人荷物積入り
 又水主人數不足の分を其処より慥成者雇水主致を差出
 船の上より右の款早速勘定所へ可訴之事
 一 破損有之節ハ浦々の者ども出合船具等取上ハ刺盜取ハク又ハ不届

の仕方於有之ハ船頭より不隱置有体早速可訴事

右の条々急度可相守若違犯の筆有之ハ金議の上可被行罪科不吟
 味の子細りハ其所支配の代官又ハ地頭迄可為越度りの也
 右浦々高札船着奏より私領の分ハ領主地頭の真印あるるり
 一 料所より私領よりハ郷村諸書物受取有る上廻村状より出し早速役
 人と差出し廻村為致村差出明細帳より引合せ諸事相尋泳村差出張渡
 する儀ハあるるり村々々々金鑿と手帳より記し檢見廻村寺の節見合
 の為耕地よりハ一巡廻らば見分致し置べし別て山附寺の村方ハ隱耕
 地ハあるものゆえ村繪圖より引合せ相廻り用水悪水路川除寺の音請
 場等も委しく見分を乞し其外他村境或ハ庄朱印地等ハ是又田
 畑山林境等とも相尋ね見寛へ置べし一休地廣繩延の村方又ハ地陔繩

詰り見分し其外林場糞場作場の手都合善悪村柄の豊窮人氣の善悪
作物の品々男女稼の有無等々巨細相糺し手帳に記し置べし勿論
廻村の節村役入并長百姓の内五六人呼出申渡し申渡しの趣
弥々相守り実貞農業出精いゝ家職大切相励み年貢其外諸納物
無滞滞相納め其外より百姓心得成る儀と一通り申渡しと請書と取
置べし

附廻村休泊の節定法の木銭米代相拂ふてゝ所在合の野菜と以て
一汁一菜の外馳走問敷儀のた様精申付其外賄賂問敷儀と
云々及々土産の大豆小豆蕎麦野菜の類何程輕少の品と申すも音
物一切受べし又下役小者心得違ふた精申付悉く廉直に
取計りし又他の支配より受取る村方と家初と支配役入の心

入り知まざるゆゑ音物又ハ馳走等々諸願事等の為ト相成り
否やと必らば試みる音物等と酒肴等も出し馳走問敷儀と
致しあるも家初と手廻り村方と見覚るとは始終甚不締の
基あるも郷村巡廻等の節随分手堅く致さべし然し村方の
困る様ある心取諸事六三敷權高のつてを村役入格め百姓と
家初と氣受悪く劣始終の害あるも付物和らぎ只心安立の
たは様と手堅く致さる肝要なり

一分郷之事

知行渡しの際村方割合出来兼るは一村の内分郷とあり相渡るとこ
度々あり村高ハ勘定所知行割掛りて相分り高帳渡るとも田畑其外
諸色引分ハ代官とてあるも分郷高と應じ年貢小物成其外山林諸

色百姓数々を分るあり此方より後令に総村高五百石の内貳百石分郷
 一と私領より渡る二百石の料所より残るとは五百石と法と一と貳百石と
 除ハ四と成り則四分の年貢小物成山林百姓教其品何品とて其品と
 の總計此四分と兼掛出し一と貢教分郷の當りよある残る分八十と
 置石四と引六と成るあり併し百姓と法のどく分て一と一村の百姓持高
 一人毎より出入作とあるあり百姓の持高一軒充より片寄せ貳百石の高
 一合せ百姓軒数ハ石の四分六分一分とせと苦しむる石の通るとし
 て端高まを分る様より成ざるは付百姓の内貳三軒の持高と分郷と
 一と料所ととも私領ととも一方と持添ととも勿論百姓も成る丈四
 分六分は成様百姓持高の多少と割合大緊に分べし百姓片付とて
 万一欠所等なるも甚だ差支よあるとあり右の前書の通り分ると雖

り町場も又も在郷とて上宿中宿下宿を立つて又も家居さびて町立
 一とる処と料所と私領と入交りよ分て宜しむる上宿と下宿と
 又も南側より北町と一方付より片寄て分べし然とて町場上中下の宿
 并に百姓の豊足窮乏後令に上宿下宿の百姓ハもてて貧窮の小百姓中
 宿と何きも相應の百姓ありあり片付て引分るとは料所と私領と
 宜き者許り片寄様も成て宜しむる箇様の所を後令隣りの料所の百
 姓其隣りの私領の百姓より成り居家入交るとも致方なし貧富善悪の片
 寄ざる様も分べし併し軒別に入交る様とて小悪し其処を分方の作畧
 一と簡臨機應變の取計ひありべし

一と山崩川又清と地等多くある村方山添川附とて田畑所持の百姓を持高
 の内引高多く又沖通り田面中の田畑所持の者の引高多しと百姓と片

寄るべく引高ある百姓を料所残り引高多き者の分郷より私領
 へ渡す様しくして斤寄て悪し是等も双方格別勝負ある様も分へし総
 百姓の内料所より私領もあると悉く難儀がる者多し又入寄てハ私
 領もあると歡ぶ者も稀しハ何れも依て百姓に分るは六百石の趣
 て引分圍を以て私領役入村役入立合引分る方より夫も村高半分より
 分るハ双方何をへう斤付圍取もあれは千石の村方の内と漸く八拾
 石より百石余私領は渡る村より百石と九百石の振分の圍よりあるは
 苗様のとれと千石の内私領渡し百石分の百姓と幾個も割合て持へ置
 此内圍は當りたる方と私領へ渡さべしと夫も百姓どもへも承知致さ
 せ置と圍と入て渡さべし然とれは渡方の善悪は村百姓の恨もあし
 越石持添もある百姓野田の高と何程多分私領の方へ持たうとも住居

の屋敷料所よりあるは料所百姓より私領の方持添あり又料所より高多分
 ありとも居屋敷私領あるは料所の方持添あり分郷の即方一品一寄り
 家地下と私領と二分分るると家作七分通り私領の地は掛り三分の
 料所より其三分の内は電のまの料所の百姓は極る法あり料所私領と
 も何れも電のまの方と本百姓と以後令家作の多く掛りとも電のま
 方と持添もあるありとの電の家内一命と繋ぐ元あるゆへ斯のごとく
 取極るると見へると去あが家居下と二分分るると先のあたて
 あり

一林心分るは大場中と木立一様あり又山林の内口の方地面あり
 りしを宜しとれども木立少く平地の様ありりり山奥の方木立茂
 く又良材もたれども陰阻多く道筋もあて成出等成難き場ありり

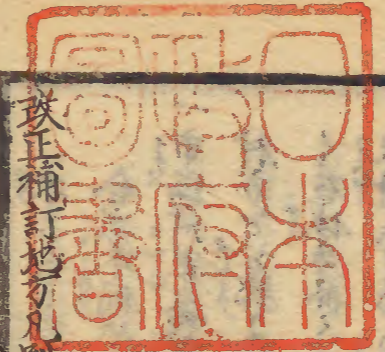
山林と田畑と違ひ切らぬ一方付て分給が多し併し是れ成
 丈地面木数等木同あた様分け度であれども場処よりとる左様
 甲乙あく分け難き処ゆり右体の山林ハ少く不同あれども致方ふけ
 まへ東の方より西の方より又と興とう口より二つ振分け料所松領
 て園取より分けるとなり之より前条を記す百姓分け方のごとく八分通り
 を料所に残し二分通り私領へ渡してはれども東西南北の内所寄る場
 所二三箇処も二分通りの反別は將へ置木其分善悪はれども園
 て分べし尤も林立野等寄り知行渡りあり料所許り残してはれ
 ども何と下知次第あり

但し官林分郷はあるてはれども分ざる以前林方并は林奉行へ其段
 と届置引かざる上私領へ渡りたるは木数減不証文となり林帳減

木をくし勿論料所残りたる林反別木品負数寸間等相改め林帳引
 合減木同ひよ出をくし

一市場河岸場或は格別の役村等と必む分郷はあき何れも帯体の
 村方と分郷は致し度とあれども知行割掛りよりも渡方差支へ扱
 く右体の品々ある六ヶ敷村方分郷はあきともりか分方の代官より
 取計ふるもの巧者あるは仕方難し何れも分郷を致さざる其村へ手
 代差出し田畑山林或は普請処の多少百姓の豊窮はてて村中の儀と巨
 細は相れし双方も木同あく未だ差支へよ成さる様克く勘辨し引分
 べし但し田畑山野敷林等に至るまで法のごとく分け度あり大際
 分量を法より知行場処其品は依て間と加へ譲り合せ分方の作畧
 かんくき

武江地方史金
卷之八



改正補訂
武江地方史金
例録卷之八上

武江地方史金
例録卷之八上
一、武江地方史金
二、武江地方史金
三、武江地方史金
四、武江地方史金
五、武江地方史金
六、武江地方史金
七、武江地方史金
八、武江地方史金
九、武江地方史金
十、武江地方史金

